

【情報提供】

湯原文化協会

令和7年度 湯原文化祭を開催します

期間▶ 令和7年11月1日（土）～3日（月）

会場▶ 湯原ふれあいセンター（真庭市豊栄1515）

湯原文化協会では、11月1日（土）～3日（月）の3日間、令和7年度湯原文化祭を開催します。

今年は、当協会に三味線愛好家団体の「絃継会」が新規で加盟されたことから、近年開催できていなかったステージイベントを復活します。また、特別企画として、湯原が辿った100年を振り返る「湯原の昭和100年展」と70歳代から本格的にデジタルアートを始め現在85歳の「瓜生倫子さんの写真画集展」を同時開催します。（※ 防府市出身で現在は岡山市在住ですが、育ったのは湯原地域。）

この他にも、湯原管内のこども園・小中学校の皆さんによる絵画・工作・書道や地域の方の手芸・絵手紙・陶芸・短歌などの作品展示、旭川荘真庭地域センターと湯原中学校生徒による「結マルシェ」、茶道グループによるお茶席など、来場者の方にお楽しみいただける内容を多数ご用意しております。

つきましては、多くの方にご来場いただきたいと思いますので、周知にご協力いただきますとともに、ぜひとも取材いただきますようお願いいたします。

概要▶

1.開催日時 令和7年11月1日（土）～3日（月）午前9時～午後5時（最終日は午後3時まで）

2.会場 湯原ふれあいセンター ホール他（真庭市豊栄1515）

3.内容 【作品展示】※一例です
・文化協会会員及び一般による作品 …陶芸、菊、川柳、手芸、絵手紙、工芸、写真など
・湯原小・中学校、湯原こども園 …習字、美術、技術、家庭科作品など
・旭川荘真庭地域センター …利用者作品
・湯原こども教室 …夏休みに開催した陶芸教室の作品

【イベント】
・結マルシェ …旭川荘真庭地域センターと湯原中学校生徒によるマルシェ ※11/1のみ
・音楽ライブ …SwingRose(美甘と湯原の音楽バンド)、絃継会（三味線）等 ※11/2のみ
・お茶席 …茶道グループによるお茶席 ※11/2のみ

【特別企画展】 ※ 期間中は毎日開催。詳細は別紙をご覧ください。

- ①「湯原の昭和100年展」
- ②「瓜生倫子さんの写真画集展」

お問い合わせ先・発信元▶

湯原文化協会 事務局

（真庭市湯原振興局 地域振興課 担当：升本）

TEL0867-62-2011、FAX0867-62-2097

湯原文化祭 企画展（同時開催）

湯原の昭和100年史を懐かしい写真や映像、証言等により振り返るとともに、新たな挑戦に触れることで、明日への活力がみなぎる企画展



湯原の
懐かしい
昭和100年

昭和100年 湯原が辿った 展

湯原育ち

瓜生倫子 写真画集展

うりゆう みちこ

70歳の挑戦！ 85歳の現在地。

11/1(土) 2(日) 3(月)

9:00~17:00（最終日 9:00~15:00）【入場無料】

真庭市豊栄 湯原ふれあいセンター

主催：湯原文化協会

湯原が辿った昭和100年 展

湯原の懐かしい 昭和100年史 を、写真や映像、証言等で綴る。

昭和元年～昭和20年

【1926年～1945年】

戦前の湯原

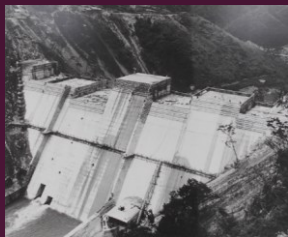


- ・昭和9年9月 昭和九年大水害発生
- ・昭和15年11月 湯原町制を布く
- ・(明治22年2月 二川村誕生)
- ・昭和16年12月 太平洋戦争開戦
- 戦死者 湯原町 162名、二川村 70名
- ・昭和20年8月 終戦

昭和21年～昭和40年

【1946年～1965年】

戦後復興の湯原



- ・昭和24年8月 勝山高校湯原分校開校
- ・昭和29年10月 二川村ジャージー牛導入
- ・昭和30年3月 湯原ダム竣工式
- ・昭和31年9月 湯原町、二川村合併
- ・昭和34年8月 国民宿舎桃李荘開業
- ・昭和35年8月 湯原温泉病院開院
- ・昭和37年10月 岡山国体山岳競技開催
- ・昭和43年頃 スモン病多発

昭和41年～昭和60年

【1966年～1985年】

高度経済成長期の湯原



- ・昭和42年5月 昭和天皇来町(植樹祭)
- ・昭和45年11月 湯原町庁舎 旧湯本小へ移転
- ・昭和47年3月 はんざきセンター完成
- ・昭和51年10月 第1回 町民運動会(復活)開催
- ・昭和56年7月 昭和56年7月豪雨災害
- ・昭和58年8月 日教組・湯原大会
- ・昭和60年4月 湯原ふれあいセンター完成

昭和61年～平成17年(昭和80年) 【1986年～2005年】

少子高齢化に向かう湯原



- (3年に1度開催)
- ・昭和61年11月 第1回 ふれあいまつり 開催
- ・昭和62年6月 第1回 露天風呂の日 開催
- ・平成元年1月 下湯原温泉湧出
- ・平成4年3月 二川中学校閉校
- ・平成4年12月 米子自動車道・湯原開通
- ・平成17年3月 真庭市誕生(9ヶ町村合併)

平成18年～令和7年(昭和100年) 【2006年～2025年】

真庭市合併による湯原



- ・平成17年5月 岡山国体クライミング競技
- ・平成17年7月 国道313赤津-下湯原バイパス
- ・平成23年10月 全国女性消防操法大会優勝
- ・平成26年9月 第1回 湯原温泉トライアスロン大会
- ・平成31年3月 二川小学校閉校
- ・令和2年4月 湯原振興局、ふれあいセンターへ
- ・令和4年4月 二川みらいづくりセンター、マンガ館

11/1(土)

旭川荘&湯原中生徒
YUI コラボ企画

結 マルシェ

10:00～15:00

交流スペース

2(日) お茶席

ステージ・イベント

バンド演奏

Swing Rose

ラブ・フロッグズチーム

絃継会 いとつくかい(三味線)

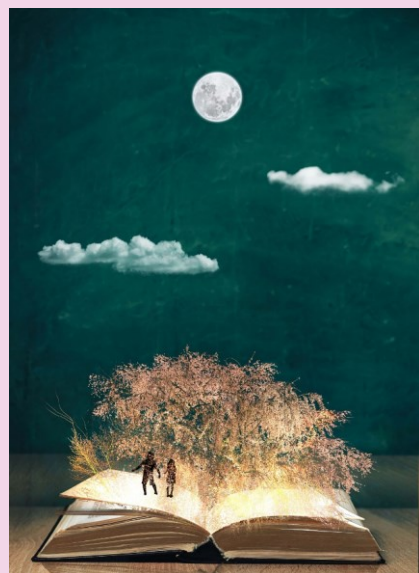
開演10:00(開場9:30)



各地域が盛り上がった「綱引き合戦」

●映像で甦る「湯原の軌跡」(30分程度) 毎時30分～上映開始
町民運動会、ふるさとまつり等、「元気な湯原」が満載映像！

湯原文化祭 企画展



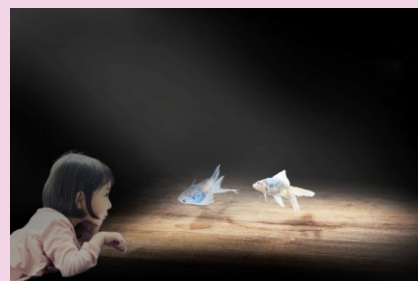
70歳の挑戦！
85歳の現在地。

湯原育ち

うりゅうみちこ

瓜生倫子
写真画集展

岡山市在住。防府市(山口県)生まれ。禾津(旧姓 伴)で育つ。
70歳代から本格的に始めた自身が撮影した写真とパソコンによる画像編集技術で制作した「写真画集」の湯原初作品展。昨秋、初の写真集「天球の帆布」を刊行。



令和7年度 湯原文化祭

入場無料



Special live

11月2日（日）10:00 開演 9:30開場

湯原ふれあいセンターホール（岡山県真庭市豊栄1515）

出演者リスト

Swing Rose

澤本 基兄・・・ベース【バンドマスター】
横山 幸治・・・ギター
樋口 登・・・アルトサックス
濱子 伸枝・・・キーボード
樋口 坦男・・・ドラム

池田 和輝・・・ボーカル

新見市出身。新見市在住・在勤。
高校2年生の時NHKのど自慢チャンピオン。

いと つぐ かい 絃継会

二若 修	美甘 早苗
樋口 登	村田 智恵
中田 典子	手島 久子
森 正人	福島 万理
前原 なほえ	佐山 貴美枝
秦 愛実	小椋 二子
伴野 良子	

ラブ・フロッグズ チーム

庄司 弘明・・・ギター・ボーカル
井上 法子・・・ウクレレ・ボーカル

出演者の紹介や演奏曲については
裏面をご覧ください！

お問い合わせ

湯原文化協会事務局（真庭市湯原振興局地域振興課）

TEL0867-62-2011 E-mail：chiiki_yb@city.maniwa.lg.jp

Swing Rose

昭和38年岡山国体の年に鉄山地区住民を主体に「樋口和正 & Swing Rose」を結成。当時はまだカラオケも無かったため、演奏の機会も多かった。結成当初は7～8名で、その後のメンバーの出入りはあったが、勢力的に活動が続ける。平成27年にバンドマスター樋口和正が亡くなり、バンドの名称を「Swing Rose」に変更。
現在、結成62年。平均年齢77才の5名のメンバーで、ナツメロ演歌を主体にぼちぼち活躍中。

池田和輝

新見市出身で、高校2年生の時、高梁市で開催された「NHKのど自慢大会」で、『今週のチャンピオン』に輝く。演歌が好きで、新見公立短大を卒業後、市内の福祉施設に勤務しながら、市内外のイベント等で歌手活動をしている。「SwingRose」の専属歌手としても活躍しているほか、津山が拠点の舞踊集団「宮坂流」の公演にも特別ゲストとして度々出演。ちなみに独身。

【演奏曲】

1. 次男坊鴉
2. 哀愁の高山
3. 加賀の女
4. 憧れは馬車に乗って (演奏)
5. さざんかの宿
6. 箱根八里の半次郎
7. お岩木山

【演奏曲】※予定

J ポップ、フォーク、昭和の歌謡、演歌から唱歌まで

- ・ 風になる
- ・ 津軽海峡冬景色
- ・ 涙そうそう
- ・ 青い山脈
- ・ 空よ
- ・ 上を向いて歩こう
- ・ 冬が来る前に
- ・ ふるさと

ラブ・フロッグズチーム

ラブ・フロッグズは、ギターの庄司弘明がギターのひとり弾き語りや、音楽愛好家のひととユニットやバンドを組んで音楽活動をしています。今回は、歌姫を伴ってのラブ・フロッグズチームです。みなさまの心に音楽が届き、そして楽しく喜んでもらえるように力一杯歌い演奏したいと思います。
井上さんは美咲町からの参加です。応援よろしくお願いします。

いと つぐ かい

絃継会

おんせんまち

令和3年に結成。湯原は温泉町として昔から三味線に親しみがある地域でしたが、時代の流れとともに継承する人が減ってきたことから、伝統文化である三味線の文化を残したいと願い結成しました。目標は「はんざき祭り」で『はんざきばやし』を演奏することとして、他の曲も含めて、月に2回の二若修先生の指導で合同練習を楽しんでいます。
絃継会には、三味線の絃を未来につないでいく思いが込められています。

【演奏曲】

- ・ はんざき囃子
- ・ 世界に一つだけの花
- ・ 勇気100%